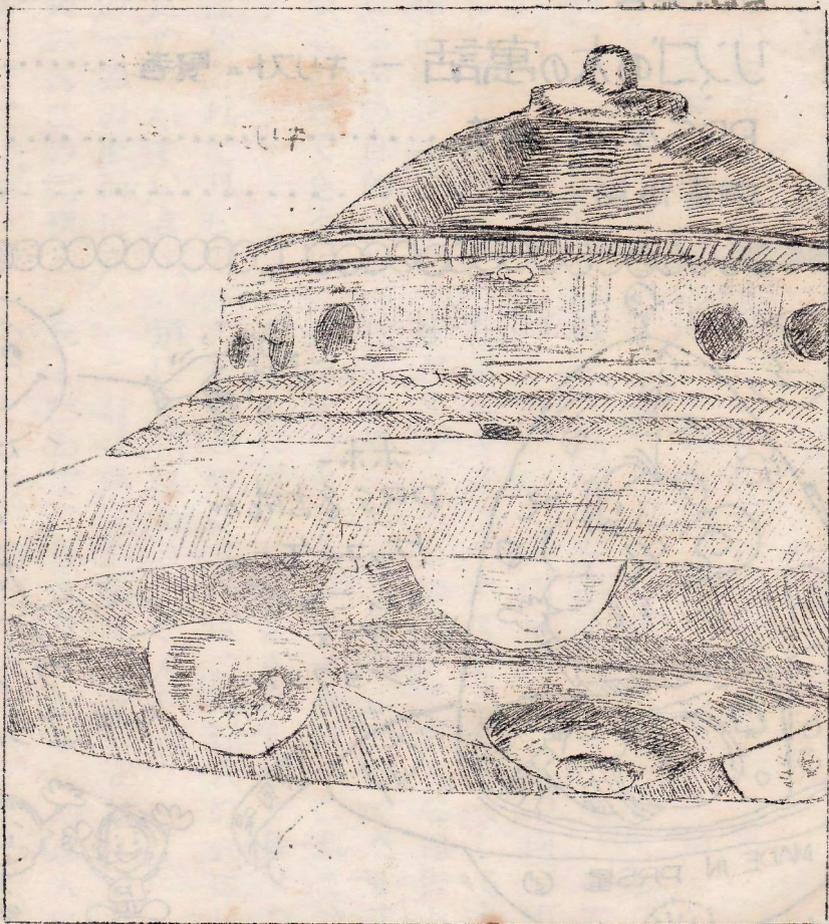
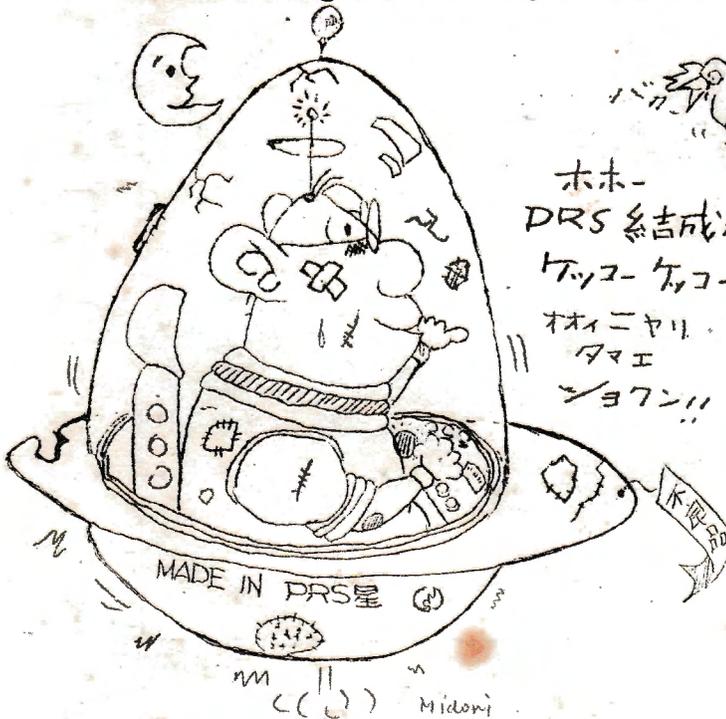


PRS ユニバーサルメッセージ 1



PRRS ユニバーサルメッセージもくじ

永遠なる宇宙の彼方へ — ジョージ・アダムスキー 1
 ジョージ・アダムスキー & UFO問題についての感想
 — 池田 史明 4
 ヒー・アリス 愚話 5
 いかにして永遠の生命を得るか — 久保田八郎 6
 PRRS 結成の意義 — 山口 緑 7
 空飛ぶ円盤・人間・宇宙哲学 — 渡部利之 10
 質問と応答 11
 リンゴの木の寓話 — キリスト = 賢者 12
 PRRSメンバー募集 13
 編集後記 14



ホホー
 PRRS 結成か
 ケッコー ケッコー
 オオニヤリ
 タマエ
 ショクン!!



PRRS ガンバッテマス

永遠なる宇宙の彼方へ

ジョージ・アダムスキー

地球では近ごろになつてやつと地上数千フィートを飛ぶことを知つたというのに、宇宙空間を自由に航行しているブラザー宇宙人以上に創造主について地球人に教える資格を一体だれが持つてゐるでしよう？

生命は始めも終りもない永遠なるものであつて、しかも宇宙人たちはわれわれと同様に創造物の一部であれば、われわれは創造の目的と生命の目的については彼らからこそ多くを学びとることができません。

彼らは宇宙を航行し、他の諸惑星を訪れたりして、いまでもわれわれは地球に閉じ込められてゐます。しかも地球は永遠のなかの一個の小石にすぎません。彼らは宇宙旅行と意識の拡大との観察とによつて多くを知ることができたのです。地球人はこれまでそうした資金を持ちませんでした。しかし現在はその機会が与えられてゐます。というのは地球人も法則に従つてやがて永遠のなかの多くの館へ惑星を訪れ、父の偉大さを知ることができるようからです。

たしかに古代の教えは人間を生命の道に歩ませて現代の段階にいたらしめるのに役立つてゐます。そしてこれらの教えは高麗なものでした。今や地球人は絶え間なく展開する知識にたいしてドアを開きつつあり、宇宙船に乗つて父の國(宇宙)を旅する機会を初めて与えられています。そしてまた他の惑星に住みながら創造について広大な視野を持つてゐる人たちの知恵にあやかすることもできます。地球人が踏み出そうとする一步一步は、これまでだれも持たなかつた体験と知識をもたらずでしよう。ひとたび父の法則を知るならば、地球人の到達しうる距離と場所に制限はありません。

これは具体的な証拠を必要とする人に大きな価値をもたらずでしよう。しかし地球人は自分が何をやるうとしてゐるか、そしてどこへ行こうとしてゐるかについて意識的になる必要がありません。意識的な知覚力がなければ人間は動くことも宇宙船を建造することもできないからです。

しばらくの間はおそらくごく少数の人だけが地球

製の宇宙船に乗って宇宙旅行を試みるでしようが、多くの人も自分の心を自己の実体の中に没入させれば、みずから宇宙を旅行し、多くのものをみることができず。そして宇宙船で旅行する人よりも多くを学ぶことができず。彼ら多数一般人も宇宙の彼方へ航行しうる宇宙船の建造と改良に関心をもつであらうからです。しかし地球に住んでいながらも宇宙船の改良に必要な知識を得るためには心が、**因の意識の導きのもとに**あらねばなりません。

金星人は幼時からこの訓練を受けています。そして**因の意識**が彼らに多くの物事を教えるのです。しかしこの幸福な生活状態を楽しむためには、自己の実体の精妙さを現わすための信念、謙虚さ、尊敬、決意などを持つ必要があるからです。

地球人が創造主の意識とつながる自己の実体の意識に心を没入させるならば、機械に頼るよりも早く進歩するでしよう。なぜなら、宇宙船を遠征してそれを宇宙空間へ進行させるには時間を要しますが、意識による旅行には殆ど時間を要しなからず。

われわれは今この点で発達の段階にあります。そしてこの好機を利用する人のすべては、肉眼で見たり耳で聴いたりすることのできない驚異を次々と見

るでしよう。

このような意図においては信念が大きな役割を果にしますし、自己訓練がきわめて重要になってきます。また無抵抗の態度をなくさねばなりません。それは弱さを現わしているからです。それよりも神の目的の成就にたいする決意に満ちた態度が必要で、人は崩れやすい砂の上に自分の土台を築くことはできません。本人の信念はそれをサストするための変動が起こっても微動もしなむ器のごときのものである必要がめります。そうすれば本人は完成していません。かりと地に足をつけることになりません。しかし砂の上に土台を築くならば、それは洗い流されて本人は忘却の彼方へ押しやられるでしよう。今は人間が創造された目的のための元の位置へ帰る好機です。

学習というものは決して終わることはありません。なぜなら、今だれもが教えることのできない海洋、小川、または大きく見て地球それ自体の持つ砂の粒すべては、人間の心にとつて一つの大きな砂のかたまりにすぎませんし、永遠のさなかにあつ



ては最小のかたまりですが、やろうとすれば各粒のすべてを理解することはできませんし、それらの粒が創造された目的を知ることでもできるからです。

ここであなたがたは言うかもしれません。「創造主はどんな種類の心または意識を持っているのか？」と。われわれも創造主と同じ意識を持っているのか？と。そうです。われわれも創造主と同じ意識を持っているのです。創造主から引き継がれた各種の能力は創造物の内部に宿されています。しかし万物は創造主が持ったのと同じ意識を持たねばなりません。この地球こそ宇宙の父の息子や娘たちが父の意識を体得すべき場所です。

△空飛ぶ円盤とアダムスキ』より▽

-3-
だれかが団体を結成して、かたりうまく運信していると、他の対抗者がラマを飛ばして動揺を起し、その団体を破壊しようとした例がこれまで少なからずありました。しかし恐れる必要はありません。なぜならグループ・スタディーやデズカシンの必要を感じている人は米国だけでも無数にいますし、各国にも沢山いるからです。ゆえにこの種の宇宙哲学の活動を行ないたい方はいつでも新しいグループ

を結成して下さい。われわれが宇宙的な実をつみ取ろうとするのなら、宇宙の法則と共に生きなければなりません。ブラザーズによって示唆された方法は次のとおりです。

結成されたグループはこの講座(生命の科学講座)で述べられた原理の研究と応用に努力して下さい。特に生命の科学講座の研究を目的として結成されたグループは宇宙の法則に従って行動し、あらゆる宗教政治団体と関連なしに独自のグループとして活動して下さい。しかし啓発の目的をもって人間社会のあらゆる面に關心を持たなくてはなりません。建設的な分野で貢献し得る人をメンバートに加えるのは自由です。神秘主義を促進するような人は避けて下さい。われわれは専実を望んでいます。神話や神秘主義を望んでいるではありません。われわれが神の似姿を現わそうとするならば、神のような生き方をする必要があります。万象は人間にとって自然のままです。しかも正常であるべきです。

この世界を良き社会にしようとしている彼らブラザーズに協力する人はだれでも彼らからの援助を受けられるでしょう。あなた方に栄光のめらんことを！

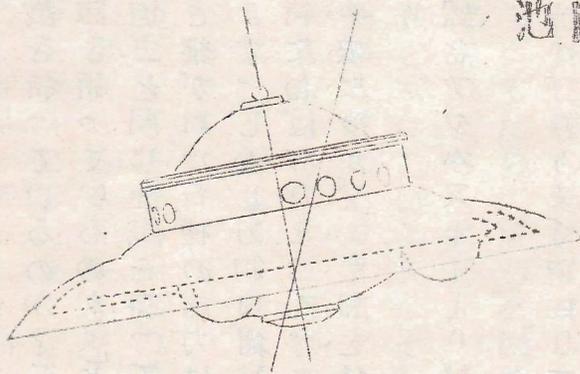
△生命の科学より。一部割愛・改訂あり。▽

ジョージ・アダムスキー

&

UFO問題についての感想

池田史明



私がUFOということばを知ったのはたしか中学のころでした。それはある本の中で紹介されており、内容はUFOおよび宇宙人によって地球の人々が殺されたとか、さうわれたりしたとかいうもので、読み終えたときおそろい寒気がしたのを覚えております。これは片よった内容の本が何もう知らない人に対していかにおそろしい影響を与えるかということの一つの例でありましょう。現に私も宇宙人とは恐しいものである、という信念を強烈に受けたものです。高校で山口君と知り合った時、二人で将来UFOをや、つける相談をしたくらいですから。

本座で偶然見つけたアダムスキー氏の空飛ぶ円盤同乗記を一読したときに、はじめてUFO問題の出发点を見出した思いでした。二十年前も前のでき事は私たちには知る余地もありませんが、当時はそれこそ世界的な話題となったのです。かつて誰も手にしたことの無い鮮明なUFO写真は、そのあまりの具象性によってかえって疑惑の目によってむかえられたのです。アダムスキー氏の写したUFOはアダムスキー氏型円盤と呼ばれております。最近日本でも多数の人が目撃しておりますし、私の知人が間近に見たと言っております。それほど出現回数が多い

-6- いかにして永遠の生命

を得るか

日本GAP代表

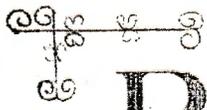
久保田八郎

この激動の惑星地球に生をうけた人々の大部分は創造主の生命力を感じることなく、ひたすらに物質的欲望のみに燃えて盲目的に生きており、永遠の生命の連続を求めようとはしません。したがって十五、六回の輪廻転生の満期に達して、この生涯を終えた後はふたたび生まれ変わることなしに個としての存在に終止符を打とうとしている人が殆どであるように思われます。これでよいのでしょうか。私達が創造主の御子として創造された限り、創造主への奉仕による返報が人生の第一目的であることは当然です。創造主への奉仕とはすなわち創造主の顕現である生命体への奉仕であり、具体的には他に対する慈悲の行為です。ゆえに行為の動機はすべて創造主への報恩であるべきで、「物欲のためであってはいけません。人間の価値はすべて行為によって決定されるのであって、語られる言葉で決まるものではありません。寝転んで百万ダラ美しい言葉をとなえても

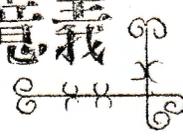
価値はなく、たとえ無学なるがゆえに語りは少なくても、他人に対する没我的行為が本人の良きカルマを作り、良き運命の形成の要因となります。今生では恵まれなくとも来世で高次な惑星で良き生活を享受するようになるでしょう。行為の宇宙的動機の基本となるのは想念です。想念↓動機↓行為↓結果というプロセスの認識から出発して良き想念から良き結果に至る可能性は万人に潜在しています。一般地球人には困難ですけれども、鉄のような信念をもって、この宇宙的動機の意義を把握し、私たちが創造主の御子として生きるようにひそかな援助を続けておられるのがスペース・プログラマーです。このプログラマーの意図を汲みとって宇宙への道を歩もうではありませんか！ 今からでも遅くはありません。目覚めたときが出発の原点です。会ったことのない人々宇宙の友を思い浮かべるのはむつかしいかもしれませんが、「見なくても信ずる人は幸いです。ここにおいて直感力が重要となってきます。壮大なスペース・プログラムは展開しています。これに協力しようではありませんか！

▲日本GAPニュースレター、臨時号より▼

——11ページに参照記事掲載——



Philopic Research for Space 結成の意義



山口 緑

深い感動の渦の中にPRSは誕生しました。結成に際し多大なる御支援と御努力を賜わった会員の皆さんに深く感謝いたします。この研究活動が皆さんには勿論、全人類、全生命の進歩と向上の為に少なからず貢献できるように、そしてこの大宇宙に生きる一個の生命体として、これに大いなる歓喜のもとに溶け込まんことを願うものです。何か真なる物事をまじめる態度で取り組むならば必ずそれなりの報いはあるでしょう。目標を的確に捕え建設的な行為をしたいものです。ここでPRSの意義たるものを述べておきましょう。PRSとは上記の略称であり、この広大無辺なる宇宙内に秘めらるる真実に対する哲学的かつ科学的探究といった意味で、かなり概念的な内容ですが、具体的には次の通りです。

近年、爆発的な話題となっているU

FO問題を通じて、その問題のもつ意味あいを考え、宇宙における隠された真理、法則を追求し、それを日常生活に活用しつつ、よりよい社会を建造しようとするものです。

ではこのUFOなるものの正体は何なのか。残念ながらこの質問に対し、誰としか答えようがありません。しかし逆に知られざる面が多ければ多いほど学ばべき面が多くなるのではないのでしょうか。その意味でUFO問題には厚い含蓄があります。それ謎といっても全く知られていないわけではなく、おそらく世界中で無数の人々が空飛ぶ円盤を目撃しているのも事実です。ことに日本においてはこの二三年驚くべき数の目撃がなされ、写真撮映がなされています。これを確証したい方はユニバーサル出版社から出されている「UFOと宇宙」を見れば一目瞭然です。また関係書も多数出されており、まさにUFO時代です。しかしその関係書の選取には慎重さを要します。UFOについて述べたものの中にもピンからキリまであるからです。とにかくUFOは確実に存在するのであり、そのもの自体がわれわれ地球人にとって大いなる深淵なる意味をなげかけているのも事実なのです。

そこでわれわれが注目したいのは円盤研究者として開こうとしています。

世界的に有名なジョージ・アダムスキの驚異的な秘蔵物が真剣に探びとれたのは彼の宇宙哲学で

体験です。彼はついでにはほとんどの方が知っておらず。彼は人間の真の生き方を教えよした。これは単

れると思いきや、ここを彼について述べたおきまなる言葉の遊戯ではなく、全く科学的実践に根底か

しよう。彼は真のコンタクテイト(他の惑星と会見)ら基づくものであり、誰にでも応用できるすばらし

した人でした。一九五二年十一月二十日(アメリカ)の哲学です。これは人間のセンヌマインド(肉体の感

はカリフォルニア州モハーベ砂漠において劇的なコ 覚器官の心)と宇宙を生かす意識との一体化を中心と

ンタクト事件を契機として、次々に円盤や母船に搭 じたものであり、人間の進化の方法とも言えるべき

乗しては偉大なるスペース・オペレーションによって、人 進歩した哲理を伝えています。この法則は全宇宙を

間の真なる生き方を学び、彼自身これを地球の同朋ニ支配するものであり、アダムスキがコンタクトし

に伝えることに全生涯を費やしたのであります。この真 たる又オーストラリアが採用し、天国のごとき世

様は宇宙からの訪問者に詳述してあります。彼の体 界をつまみこくいるのです。この法則の正しさとすば

は当時の状況もそのすがすがしさにあつて、世界中 らしさは、

で大反響となり、少なからぬ攻撃と冷笑を受け留め アダムスキ

われたのです。しかし彼の不屈の忍耐はいかなる 一」学を生

策略や陰謀にも屈することなく、むしろ真つ向か 活に應用し

ら真実を伝え続けることによつて、世界中の人々の ながら次々

目を宇宙へと向かわせ、真実へのドアを開かせたの に奇跡を撰

です。彼の体験と教えはかつてもそうであつたよう じている人

に彼の他界後十数年の今日でさえも世界のUFO研 究家にたいなる教訓となり続けられており、宇宙にたいする情を注ぎ、

最近では私達と同じ若人が彼の誠実さに心から目を、UFO問題を扱つた著書の題名も「平和



GEORGE ADAMSKI

かです。

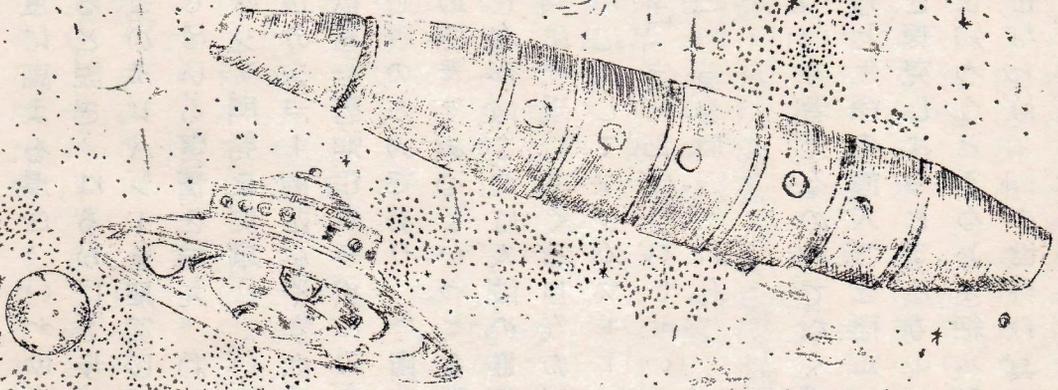
またアダムスキーは宇宙の意識との一体化によって人間の感受性が極度に高まる場合、いわゆるテレパシー現象が発現すると説き、はるかに進歩したスペースプラザードがこのテレパシーを駆使して天国のような世界を建設している実情を伝え、われわれ一般人にもこのテレパシー開発を奨励しています。これは単なる興味本位のショー的遊びや空想術ではなく、生命の躍動と歓喜を感じしプラザードのような生活をもつための必須のものであり、宇宙的人間になるための不可欠の要素であるといっても過言ではないでしょう。なぜならばこれは人間の進歩、特に感受能力の発達と共に発現してくる自然の状態であるからです。これらに関してアダムスキーは、「テレパシー」「生命の科学」「宇宙哲学」を残しています。詳細を知りたい方はこれらを研究されんことをお勧めします。

PRRSはUFOについて考えるのみでなく、抜くこのような宇宙の真理と生命の偉大さを感知し、自己を高め眞の生き方を探究しようとするものです。人間は未知なるものを知ろうとするととき絶大なる決意を必要とします。なぜならば未知の世界の裏には、大いなる疑惑と恐怖とが個人を誘惑せんとする要素が隠されているからです。何かをやろうとする場合には把握せんとする不動の決心と努力とを要するのです。それと共に右の頬を打たれたら、左の頬を相手に差し出すほどの寛大なオーブマンインドと不拔の忍耐力が必要でです。これこそは私たちがドン底に陥ったときの強大な味方となり力となってくれます。来際は私たち若者のものです。よりよい社会を築くために、この美しい地球で大いにお互い学び合おうではありませんか！この世界の恒久の平和とPRRSの発展を願うものです。

信念がなければ真理は決して現われないう。信念を持たない人は眞実の生命または幸福を知ることはありません。意識が眞実の人間なのであって、心ではないのです。意識は心を含む万物の父母です。肉体の心がみずからの利益のためにのみ働くならば、それは至上なる意識に対抗していることになります。——あるプラザードからのメッセージ——

空飛ぶ円盤人間宇宙哲学

渡部利之



きらきらと星がきらめく静かな夜。その星の一つが急に輝きを増したかと思うと、それはみるみるうちに大きくなり、そしてものすごいスピードで移動し、突然フッと消えた…… 空飛ぶ円盤だ！

空飛ぶ円盤はやってきました。地球人を目覚めさせ、地球人みずからの手で地球を平和な楽園にするために。

でも、友好的な異星人が救援に来ているとすればなぜ公然と姿を現わさないのでしょうか。それは地球人の精神の発達度に重要な関係があると思われる。一般地球人のマインド(心)の底には、長く続いてきた習慣的想念の影響により、恐怖が深く根ざしています。まったく恐怖心をもたないで純粹そのもののような宇宙的マインドを持つほどに高い発達をとげた地球人はこの世界にはほとんどいないでしょう。病気の恐怖、死の恐怖、未知のものへの恐怖等の束縛から脱しきれないのが地球人だと思います。このような精神の状態にある人々が未知の物体を眼前で見た場合、わき起こるのは好奇心よりも恐怖心なのであって、大挙して円盤が着陸しようものならたちまち大混乱が発生し、取捨のつかない状態になるでしょう。だから宇宙人「アラザーズ」たちは地球人が彼

らと友好的に接触できるその日をじっと待っているのです。

このようなことから、久保田さんが言っているように、円盤研究とは人間研究にほかならないと私は思います。そして人間研究は地球哲学に通じ、さらに宇宙哲学へと発展してゆくのだと思います。だから私たちのグループ名である Philosophic Research for Space (略して PRS) 宇宙の哲学的探究は、最終的な目標であると私は思っています。

その目標に少しでも近づぐために、いっしょに真剣に考え実行してみませんか？ そしてこの宇宙船地球号をユートピアにしようではありませんか？

質問と応答

编者である山口がかつてGAP代表の久保田先生に直接質問したものがいくつかあるが、その中で特に重要と思われる点を掲載いたします。カッコ内は私の補足説明です。

質問 生命は連続であるとアダムスキーは言っていますが、また一方では生まれ変わりの機会を十五、六回持つと言っていますが、これらは矛盾ではないのですか。また連続ならばいつかはこの宇宙は人間で

充滿してしまうのではないのでしょうか。それとも人間の数は最初から一定なのですか。

答 十五、六回の生まれ変わりを経て、なおも宇宙の法則に目覚めなければ、本人の実体は消滅してしまい、その意識(通常使う「意識する」の意味ではなく、万物を生かしている英知ある力)ほどの深淵な意味)は宇宙の意識の中へ吸収されてしまいます。これは生命の連続の法則に矛盾しません。創造主は、いつまでもエゴで生きようとする、他人のタメにならないつまらぬ、役に立たぬ人間を永遠に生まれ変わらせようとはされず、見込みがなければ適当な時期に消滅させて、新たに人間を次々と創り出そうとされるようです。したがって始めから人間の数が一定しているのではないようです。

なお、満期に達して消滅することを、アダムスキーは「記憶を失う」と表現しています。これは脳細胞の記憶のことでなく、もっと深淵な、人体を創り出す連続的なパワーを意味するようです。

この質問と応答は又もからも継続的に掲載したいと思しますので質問のある方はなるべく投稿して下さい。応答可能のものに限りお答えします。われわれも記憶を失う前に「宇宙の法則」に目覚めようではありませんか？

リンゴの木というものは創造と分離の初めです。もしリンゴが再生の象徴として昇天に役立って人間と同様なものだと思えば、自は種子からはじまりますが、種子の内部にはリンゴの木になれとせきたてる宇宙的な衝動があります。れてしまおうでしょう。

母なる大地の胸の中から種子は

人間は自分の内にひそむ力を体

美しい、実のなる樹木に成長し、

験していません。因なる親を忘

その木は実を生じる可能性をいっ

らでいるか

ばいに表わしています。季節は進

の結果、永

って、柔らかな新しい葉が成熟し

速に価値の

優美な花が誇らしげはその口を

あるものを求

見せ、芳香は花粉を引き寄せます。

めながら結果の

個々のリンゴの実の成長には雨風

を必要とします。再生の種子を

んだ果実が、その目的を達成する

（現象の迷宮のなかをさまよって

ことが出来るように、花々はゆっ

ます。

くりとその美しさを放ちます

最小の実体または知性といえど

実が十分に熟したとき、それは

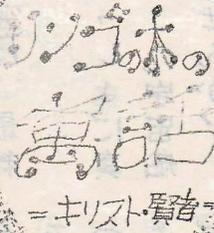
も、それが大われたり不活動にな

木からもぎ取られるかまたは地面

ったりすることはないので、その

に落ちます。こうしてそれは親か

ために父の素へ帰る無数の機会が



あるものを求

めながら結果の

あるものを求

めながら結果の

あるものを求

めながら結果の

あるものを求

人間に与えられています。肉体と

いう衣服が他の場所で活動を続け

るために生命の炎を放つてしま

とき、細胞の知性は肉体の諸元素

を元のチリに変えるのに多忙をき

わめています。しかし宇宙の英知

の炎は更新されたエネルギーを注

ぎ込む新しい容器(訳注。別な肉体

を発見しています。こうして物体

個々にたいして、奉仕と理解の高

次な状態に進化するための機会が

絶えず与えられているのです。

▲宇宙哲学、第十七章より▼

山田記記この記事はわれわれがイエスキリストを

アザ文はこの人を賢者と呼ぶ(と)呼んでいる方が

間接的にラダウキに伝えられた記事である。ここで述

べんとしていることは、人間が宇宙の法則に従って生きる

ならば、永遠の生命を得るということであり本誌中に

掲げた久保田先生のいかにして永遠の生命を得るか」と主

旨は一致すると思う。いわゆる聖書時代のイエスはこの二

ことをよくわかっておられた。これは死後が即時に生まれかわる

いるであろうと信じた。これは死者が即時に生まれかわる

ことを意味している。今イエスは金星にいららう。

PRSメンバー募集

PRS入会に際し、以前に“PRS入会案内”を配布致しましたが、その中でPRSに関する説明が不十分かと思われます。そのため入会をためらった方や断念された方も多いことと思います。しかし本誌をお読みになれば、PRSの意義たらんことばだいたい御理解いただけるかと思ひます。UFOや宇宙哲学問題に真剣に取り組まんと意志される方は遠慮なく、御入会下さい。アダムスキーの創設したG.A.P.(Get Acquainted Program: 知らせる運動)の手とまでゆかないまでも“孫”的グループとして、宇宙の真理を探究してみようではありませんか!

現在、日本各地に出現しているUFOとすけりして、日本全国には無数に近(り)UFO研究グループが結成され、主に若い世代の層(う)ある人々が、真理をつきとめんとしています。現代は宇宙時代と呼ばれまへており、まさしく、多くの人々が、狭(せま)い地球の習慣から脱(だ)し、目を宇宙に向けつつあるのです。これは喜(よろこ)ぶべき傾向にあると思ひます。地球人みんなが宇宙へと目を向(む)かせるとき、われわれはみんながお互(たが)い兄弟であることを意識するでしょう。PRSは、そのことを達成するためのかけ橋(か)としての存在です。熱意ある仲間を求めます。

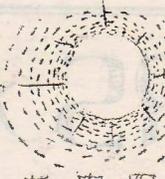
入会御(ご)希望(ご)の方は、次の要領(ようりやう)に従(したが)って下さい。

- ◎ 先に配布した入会案内をお持ちの方は、その用紙に必要事項を記入し、山口まで届けて下さい。
- ◎ 申込書をお持ちでない方は、こちらに用紙を請求するか、自分で紙切れを用意し、氏名、年齢、住所、電話番号を記入して、山口まで届けて下さい。
- ◎ 友人、知人が入会を希望する場合も、上記の手続きに従って下さい。

新加入者はその都度、掲載いたします。お互いが兄弟であることを意識され、親睦(しんもく)を深められんことを願(ねが)うものです。

PRS集会(しゅうかい)は月に1、2度開催(かいさい)し、本誌(ほんし)に關(か)しての論議(ろんぎ)や、研究(けんきゅう)発表(はつぷつ)などを中心(ちゆうしん)に行(い)ないたいと思(おも)っています。日時(にちじ)、場所(ばしょ)は順次(じゆんじ)連絡(れんらく)致します。この会合(かいが)は原則(げんそく)として、会員(かいぎん)のみが参加(さんか)資格(しきかく)を有(あ)するものとします。

編集後記



☆ 若草のもえんとする八月、真夏の太陽を肌
に受けたながら、DRSユニバーサルメッセジ創刊号
が発刊できますことは至上の歓喜です。御協力を
賜わったメンバーの方々、素晴らしい
内容を含む原稿を提供して下さいました
友人の池田史明氏、グループ結成を心
から激励し、支援して下さいました、日本G.A.O代
表の久保田八郎先生、そして本誌に喜んで投稿され
ましたがき御援助を惜しむことなく提供された会
員の渡部利之氏、同じく会員で編者の意志を無系
件に御理解された山口博之氏、これら多数のすばらし
き友に心から御礼並びに感謝申し上げます。
☆ 本誌は私が執筆、編集を担当し、最も印刷方法
として初歩的なガリ版刷りを使用しましたが、資金不
足でこれ以上のものは製作不可能です。そのため印刷ミ
スやボケ、裏面侵透が多く誠に申し訳ない限りです。
また私の勝手な編集や意見で、失望し、反論を持たれ
た方も多いと思いますが、おわび申し上げます。これ
がDRSの研究対象となってくれればと思います。

☆ まだ入会手続きがとられていない方もDRSの
目標とするものにはいかにあても考えんとする方はどう
ぞ御加入下さい。共にやってみようではありませんか
☆ 本誌は十四ページという小さなものしかできません
でしたが、次号からはもうページ数をふやし充実させ印
刷も丁寧に行いたいと思っております。ここで問題となるのは
やはり資金であり、貧乏な私が自費で出すことは不可
能です。資金不足で製作を断念はしたくありません。
したがって皆さんから拜へをお願ひするか、あるいは一
定の会費を設けざるを得なくなると思っておりますが、ぞ
うぞ御了解下さい。
☆ DRSユニバーサル出版社から出されている「宇宙からの訪
問者(千三百円)」は、アダムスエーの驚異的な体験が
述べられてあり、またスウェーデンの高貴で深淵な
る助言は、私たちに利己的な想念帯から解放し、広大
なる宇宙へと導くでしょう。私のものもそのを希望者
にお貸しします。どうぞ御遠慮なく。
☆ 本誌編集にあたって反省すべきは、私が全く勝手
な内容を掲載し、内容即ち難解なる箇所が多いと思
われます。その上読みにくいときは、救われません。次号
からはこの点を充分に考慮し、理解できるものにし
たいと思っております。その意味でも、皆さんにおい

感想、意見が非常に価値あるものとなります。
どうか本誌に関する御意見をお寄せ下さい。
☆ 空想、幻滅とか、守りやあるいは宇宙哲学、これら
は、私に私だけの主として観望できるものでもなけ
れば、手に触れることもできません。いわば私には目
に見えないものを何とかして見ようとしているのです。
ここには地球上で重要視されている証拠になるものが
ほとんどないのです。そのため多くの方は疑いを持た
れ迷われることがあると思います。「いたい自分は、
こんなタロイのなれことをやっていたらどうか？」と。
こゝで、信じて、これが非常に重要なもの、これ
が自己の進路を決定する重大なエッセンスとなるので
す。私は常に「ブライズと共にいる」というイメージを持
ち続けたいと思っております。と不思議とすばらし
い気持ちになり、全身から無限の情熱と意欲がわ
きあがるのです。とにかく、いしまに何かをやらう
ではありませんか？ (山口)

DRSユニバーサルメッセジ1
一九七六年九月二日発行
編集発行人 山口 緑
発行所 D.R.S
定 価 無 料
他書からの転載許可取得済



MOSA.I. Love & Peace!

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳

宇宙からの訪問者

—偉大な惑星人との会見記

アダムスキーの驚異的な体験記。遠い惑星からスペースナザズが地球人に真の生きる道を教える。地球的利己に没するわれわれを英知ある宇宙へと導き、限りなき啓蒙を与える。宇宙的人間になるための掛け橋となるものであり、PRS会員必読の永遠の書である。

フニバース出版社刊

● アダムスキー著学三大名著

テレパシー

文久書林刊

テレパシーの意義と開発法を根柢から詳述し、人間の生き方を説く。テレパシーを駆使するナザズが伝えた名著。

生命の科学

文久書林刊

人間の工巧を排除し、宇宙的思想に切りかえることによって人間性を高めんとする。人生のテキストとして最良の書である。

宇宙哲学

宇宙的思惟法と宇宙的生き方を詳述。科学的見地から宇宙の哲理を明快に述べた今世紀最大の哲学書である。

※上記のいずれかをPRSの一つのテキストとして携帯したい考えですがいかがでしょうか。内容を知りたい方は山口の持つものをご参考下さい。もし購入希望者があれば一括注問したいと思います。

訂正

p7 P.11の Research であるべきところ
Reserch, Reserch と誤りました。ゴメン

